

広島大学学術情報リポジトリ  
Hiroshima University Institutional Repository

Title	崔先生との思い出を振り返って
Author(s)	中村, 八重
Citation	アジア社会文化研究 , 24 : 58 - 59
Issue Date	2023-03-31
DOI	
Self DOI	
URL	<a href="https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00053971">https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00053971</a>
Right	
Relation	



## 崔吉城先生を偲んで

### 崔先生との思い出を振り返って

中村 八重

崔先生には国際協力研究科の博士課程前期から後期の途中まで、指導教官をしていただいた。途中というのは、崔先生が退官されて下関市の東亜大学に赴任されたからである。つまり、私の博士論文執筆が間に合わなかったせいである。先生が退官されて何年も経ってから、最終的に審査に入っていただき、なんとか修了することができた。このようなあまり出来のよくない弟子に、先生は時にやさしく、時に厳しく指導してくださった。文化人類学を専攻する者にとって、また博士論文の執筆には長期のフィールドワークが必須だが、博士課程後期に入ってもぐずぐずしていた私にカツをいれてくださり、広い交友関係の中から受け入れ先を手配してくださった。韓国での最初の就職のきっかけも崔先生だった。就職してからは、お会いするとしばしば新刊の御著書をくださった。

崔先生は好奇心の泉であったし、旺盛なフィールドワークと膨大な資料の渉猟による執筆はとどまるところを知らず、とにかく多作でいらした。広島大学を退官される時、本誌『アジア社会文化研究』で記念号が発刊された。その際、私は先生の業績をエクセルに整理する仕事を任されたのだが、その膨大な量に頭がくらくらしたことを覚えている。このデータは啓明大学のお弟子さんたちによって作られた退官記念論集の編集の際にも利用された。下関での古希記念祝賀会に合わせて記念論集が出版され、その編集にも関わったが、先生の業績数はさらに膨れ上がっていた。その後も日韓で数多くの学術書やエッセイ集を出版されたのは周知の事実である。

崔先生は本誌創刊の立役者で、若い研究者に成果発表の場を作ってくさったが、他にも韓国・朝鮮研究者の交流と研究成果発表を目標とした全国組織、「韓国・朝鮮文化研究会」（1999年設立）の発起人でもいらした。私は先生の勧めで設立まもなく入会し、後に研究例会で発表する機会も得た。博士

論文の構想の主要内容を発表したが、錚々たる韓国研究の先生方におもしろいという反応をいただき、大いに勇気づけられた。この時に初めて崔先生にほめられたのではなかっただろうか。そして、昨年はこの研究会の会誌に先生の追悼文を書かせていただいた<sup>1</sup>。

崔先生との思い出を振り返ると、奥様と犬のミミちゃんのこととも思い浮かぶ。先生の研究生生活は奥様のサポートの賜物であるのはご本人も認めていらっしやっし、愛犬家で敬虔なクリスチャンでもあった先生は、時々平和とか愛についても議論されていた。決して真似はできないけど、見習うべき先生の研究者としての好奇心、フィールドワーク、批判精神、執筆活動など、それから人類の平和や愛についてまで、これから私が迷ったときの参照先になると思われる。

---

<sup>1</sup> 中村八重 (2022) 「崔先生にいただいたもの」『韓国朝鮮の文化と社会』21号